

共同の力で国民主権の政治の実現へ——新しい時代を切りひらく力 強い民青をつくろう

2017年12月10日 採択

1、共同の力で9条改憲を止め、国民主権の新しい政治の実現を

(1) 政治を変える国民的共同の力で、新しい日本社会へ踏み出そう

安倍政権を打倒し、野党連合政権の実現へ、青年と共に力を合わせようと呼びかけた第40回大会から1年。みんなで作ってきた市民と野党の共闘は、逆流をはねかえし一步一步前進しています。世論と運動に追い詰められた安倍政権が強行した10月の解散・総選挙では、希望の党の出現という共闘の分断をはねかえし、共闘勢力が議席を増やして次につながる足がかりを築きました。日本共産党は12議席に後退するという悔しい結果になりましたが、共闘の旗を高く掲げて日本の民主主義を守る大きな力を発揮しました。この選挙にたくさんの青年・国民があきらめずに立ち上がり逆流を打ち破ったことは、国民の力と共闘の威力を示すものです。

自民党・公明党は、日本維新の会などを取り込んで来年6月にも9条改憲の発議を狙っています。絶対に許すことはできません。3分の2を超える議席は、民意をゆがめる小選挙区制による「虚構の多数」にすぎません。多くの国民が「9条が日本の平和と安全に役立っている」と考えています。平和と暮らしを壊し、強権と私物化、嘘と偽りの政治をおこなう安倍政権に怒りと不信感が強まっています。改憲勢力が多数を占めた国会でも、世論と運動、共同の力で包囲すれば、改憲発議を止められます。この国の未来を決めるのは、主権者である国民です。

世界でも日本でも、平和や格差是正を求める市民の運動が政治を動かしています。ヒバクシャをはじめ反核平和を求める世界の人々と各国政府の真剣な努力で、国連でついに核兵器禁止条約が採択され、国際社会の本流が鮮明になっています。欧米では、格差と貧困をただす市民の運動が、選挙を通じた社会変革をめざし、「99%のための政治」「個人の尊厳」を掲げる新しい政治の流れをつくり出しています。各地で、青年がその先頭に立っています。

日本でも、戦争法（安保法制）廃止のたたかいを通じて国民一人ひとりが立ち上がり、「自民党政治を変えたい」「政治を変えるために力を合わせよう」という人々の動きが、政治を動かしてきました。声を上げる同世代の姿に生き方を揺さぶられ、「自分にも何かできないか」と行動に踏み出す青年が広がっています。格差と貧困の広がりや個人の尊厳が大切にされない現実に、多くの青年が新しい政治や社会のあり方を模索し、「どうしてこんな社会になっているのか」と考えています。真剣に考え、語り合い、手を取り合って立ち上がる一人ひとりの青年が、主権者として成長し、民主主義を力強く発展させています。

変革を求めるエネルギーのおおもとは、「アメリカ言いなり」「大企業優先」という自民党政治が青年・国民との矛盾を深め、行き詰まっていることがあります。命まで奪う長時間労働、高すぎる学費や重い奨学金の負担などに批判が強まり、「8時間働けばふつうに暮らせる社会に」「お金の心配なく学べる社会を」という運動への共感が広がって、自民党政治を乗り越えた新しい政治への模索が強まっています。

「変えたい」と願う全ての青年と力を合わせれば、政治を変えられます。切実な要求を掲げて運動することが、市民との共同を強め政治を動かす何よりの力です。草の根から語り合い、日本国憲法の精神が生きる新しい政治への展望を広げることが、模索とエネルギーを行動に結び付けることにつながります。安倍政権を倒せば、自民党政治そのものを終わらせ、国民主権の新しい日本社会に踏み出す大きな一歩になります。

共同の力で改憲発議を阻止し、安倍政権を倒して新しい政治の実現へ、青年と共に成長し政治を変える民青が力を発揮するときです。

（２）青年と力を合わせ、新しい政治を切りひらこう

広く深く青年と結び付き主権者として共に成長し、共同の力で新しい政治を切りひらくことを目指します。

「政治を変えたい」思いを語り合い行動してきた一人ひとりの同盟員、一つひとつの班が、民青の役割の発揮を支えています。「憲法変えるな政治を変えろ」と声をあげた若者憲法集会とデモ（5月21日）、「アメリカ主権」「財界主権」の日本を「国民主権」に変える道筋と、「未踏の領域」に踏み出した日本と世界を生きいきと示した「世界と

日本をどうとらえ どう変えるか 日本共産党綱領セミナー」(4月23日)、被爆者の決意と世界の希望ある流れに励まされ「核兵器禁止条約に署名する政府をつくろう」と呼びかけた原水爆禁止世界大会とヒバクシャ国際署名の取り組み、「納得して一票を入れたい」という青年とも語り合い一緒にたたかった総選挙——。「力を合わせれば政治を変えられる」「一緒に変えよう」と呼びかけた民青の活動が、青年の成長と行動を支え、共同を広げてきました。あたたかく問いかけ展望と行動する意味を語り合った対話が、一人の願いをみんなの要求にし、力を合わせる青年の輪を広げました。一緒に問いかけ考える学習と交流が、「今度は自分の番」と立ち上がりを励ましました。「青年との共同」「草の根の行動力」「社会を変革する学び」という役割を発揮する民青は、青年にとっても日本社会にとって大きな希望です。青年と共に新しい政治を切りひらくために力を合わせましょう。

「9条変えるな」「最低賃金は時給1500円に」「お金の心配なく学べる社会を」——。青年の願いに照らして安倍政権の危険性を告発し、憲法に基づいた政治を求める運動を広げます。平和への願いをひとつにし、広大な共同をつくって9条改憲を止めれば、安倍政権を倒し政治を変える大きな力になります。地域や職場、学園から一つひとつの願いで運動を起こし、展望を語り共同を広げれば政治は変えられます。「力を合わせれば政治は変えられる」「一緒に変えよう」と語りかけ、一緒に学び成長し、行動する青年の輪を広げます。

「社会のことはよくわからないから知りたい」「自分の意見を持てるようになりたい」——。いま多くの青年が、自らの生き方と日本の未来を真剣に考えています。仕事や生活に追われる中で、「このままでいいのかな」「人の役に立ちたい」と考える青年が広がっています。一つひとつの願いから対話を広げ、自分の生活と政治のあり方を語り合うことが待たれています。青年一人ひとりが、この国の主権者です。一緒に学び、主権者として共に成長することで、政治を変える国民的共同を発展させることを目指します。

そして、民青を強く大きくすることが政治を変える何よりの力です。「民青に出会えてうれしい」「学んでみたら未来はもっと変わると思った」——。いま、民青が大きくなることが青年からも日本社会からも求められています。広く深く青年と結び付き、共に学び成長し行動で

きる組織をつくって、新しい時代を切りひらく力強い民青へ前進するために、同盟員みんなが力を合わせましょう。

2、青年の要求を掲げ、新しい政治をつくる運動を広げよう

いま、力を合わせれば政治を変え青年の願いを実現できるときです。青年の実態を告発し、幅広い市民と力を合わせて要求実現を進めます。政治を変える共同の一翼を担い、安倍政権打倒を目指します。日本国憲法の精神が生きる新しい政治への展望を発信し、その実現へ力を合わせます。青年のもっとも身近で活動する一つひとつの班が、地域・職場・学園で「こんな政治を実現しよう」「一緒に変えよう」と語り、草の根から運動と共同を広げましょう。

この一年、勇気を出してとりくんだ学内対話で、学生と要求を語り合い、実現に取り組む民青に信頼が寄せられました。自分の言葉でアピールした姿に、「私も同じ気持ち」と共感と共同が広がりました。一筆の意味を語った署名が、身近なところから世界の流れを後押ししました。一つひとつの行動の意味を語り合い、周りの青年と一緒に行動に踏み出しましょう。

願いを聞き、変える展望を伝える対話で草の根から世論を広げ、集めた声を政治に届けて実現のために力を合わせましょう。声を上げる場をつくり、行動に踏み出した思いを語り、要求実現を目指して立ち上がる姿を発信しましょう。つくってきた共同を発展させ、青年と力を合わせる場をつくりましょう。政治を変えたい思いを語り合い、選挙で政治を変えて要求実現を目指しましょう。

■全ての班が立ち上がり、安倍政権による9条改憲を止めよう

憲法9条の改悪は、「武力によらない平和」を目指す9条を破壊する、戦争する国づくりそのもので、許すことはできません。安倍政権による9条改憲を止める青年の広大な共同をつくります。「安倍9条改憲NO！ 憲法を生かす全国統一署名」に取り組み、地域・職場・学園で9条改憲に反対する圧倒的な世論をつくりましょう。

■憲法を生かし、平和と民主主義、個人が尊重される日本の実現へ

変えるべきは憲法ではなく、憲法をないがしろにする政治です。若者憲法集会を節目に、憲法を守り生かす運動を広げます。立憲主義を回復し、戦争法と共謀罪法を廃止するたたかいに力を合わせます。

沖縄戦や基地闘争の歴史を学び、全国の基地強化を許さない運動を広げます。日米安保条約をなくす展望を学び広げます。原水爆禁止世界大会に参加し、「ヒバクシャ国際署名」を広げて核兵器禁止条約に参加する政府をつくることを目指します。戦争・被爆体験の継承と発信にとりくみ、侵略戦争を美化する動きに反対します。

学問の自由と大学の自治を守ります。競争と選別ではなく、豊かな人間性を育む教育の実現へ、教職員とも力を合わせます。あらゆる差別を許さず、多様性を認め合う社会を目指す運動にとりくみます。女性の権利の獲得と保障を求め行動します。

■格差と貧困をただし、青年の命と暮らしを守る政治を

「残業代ゼロ法案」を許さず、長時間労働の是正を求めて行動し、法規制を目指します。ブラック企業規制や非正規雇用の正規化、最低賃金時給1500円への引き上げを求める運動を広げます。労働組合に加わって権利行使に力を合わせます。消費税増税を許さず、大企業や富裕層の応分の負担で教育や社会保障予算の抜本的拡充を求めて行動します。給付制奨学金を拡充し、学費の値下げを求める運動を広げます。

東日本大震災と原発事故、各地の自然災害からの復旧・復興、被災者への公的支援や防災体制の拡充へ力を合わせます。全国の原発再稼働に反対し、「原発ゼロの日本」を目指して行動します。

■文化・スポーツ・レクリエーションを通じて豊かな人間的成長と連帯を

豊かな人間的成長と連帯を求める青年期の願いに応え、映画上映会や演劇鑑賞会、美術館・博物館ツアー、文学カフェ、自然散策やスポーツ大会など多彩に取り組みます。

3、「社会を変革する学び」で、主権者として成長し新しい政治への展望を広げよう

多くの青年が社会に目を向け、「どうしたら社会を良くできるか」と考えています。科学的社会主義や日本共産党綱領を学べば、社会を変える展望が見え、一人ひとりの模索や意欲が社会を変える生き方につながります。「社会を変革する学び」としての科学的社会主義と日本共産党綱領の学習を大切にし、青年と一緒に学んで成長しましょう。

「自分の活動の意味が見えてきた」「周りの人を大切にできるようになった」「世界の変化を感じ、未来はもっと変わると思った」――『マルクスと友達になろうパンフ』と『日本共産党綱領セミナーパンフ』は、世界と日本の希望ある流れをとらえ、「未踏の領域」に踏み出す道しるべです。国民多数の力で政治を変えていく展望を学ぶことで、たくさんの青年と力を合わせる意味が見えてきます。資本主義の仕組みに迫り未来社会への展望を示すとともに、社会変革の担い手である一人ひとりの役割をつかむことができます。人間への見方が豊かになり、生き方への模索にも深く応えることができます。学んで成長する民青を目指しましょう。

――全ての班と同盟員が『マルクスと友達になろうパンフ』と『日本共産党綱領セミナーパンフ』を学ぶことを目指します。班会で問いかけあい、じっくり議論することで理解が深まります。同盟員みんながパンフを手元に置き、班で1年間かけて2つのパンフを学ぶ計画を持って取り組みましょう。2つのパンフを入りに、『古典教室』『綱領教室』などの学習につなげ、科学的社会主義の古典そのものの学習にも挑戦しましょう。朝学・夜学や空きコマでの学習会、合宿や連続講座を開き、講師活動にも挑戦し、学ぶ楽しさと成長する喜びを全ての同盟員、青年に広げましょう。民青新聞を学習の中心に据え、班会での「みんなのタイム」を大切にしましょう。

――青年に開かれた「社会を変革する学び」を広げます。友人や職場の仲間、運動でつながった青年を誘い、民青新聞や2つのパンフを使った気軽な学習企画、「参議院議員を招いて『政治×ワカモノ交流会』」など、日本共産党の議員・候補者や専門家を招いたつどい・学習会を開き、周りの青年と一緒に学びましょう。

――青年の疑問・関心や「知りたいこと」、「3スピ」「みんなのタイム」で気になったことに応える学びを広げます。「沖縄スタディーツアー」など社会の現実に触れるフィールドワーク、働くルールや外交問題、恋愛・結婚や人間関係など多彩なテーマで学習を進めましょう。勉強や進路選択、就職や仕事の悩みを交流し、試験前勉強会や「ようこそ先輩企画」など、「勉強が分かるようになりたい」「いい仕事がしたい」という思いを支え合う学びに取り組みしましょう。

4、同盟員の倍加を目指そう——共に学び成長し行動できる組織をつくり、新しい時代を切りひらく力強い民青へ前進を

「広く深く青年と結び付き、一緒に学び成長し、行動できる組織に前進を」と呼びかけた前大会以降、「仲間を増やしたい」「民青を大きくしたい」という思いを語り合って挑戦してきた全国の努力で、953人の同盟員と741人の読者を増やしてきました。新たな班の結成に本格的に挑戦し、39の班をつくってきました。

この一年の努力は、民青が組織づくりで前進する新たな可能性をつくり出しています。「青年が民青に加盟する意味」を考え、「あなたに入ってもらいたい」と正面から加盟を呼びかける努力が強まったことは何よりの確信です。要求実現に取り組み、学習を重視した原則的な活動の中で、新しい仲間も含めてみんなが力を発揮する組織へと成長しつつあります。日本共産党と運動や組織づくりに力を合わせる中で新たな条件が広がり、迎えてきた新しい仲間が大きな力を発揮しています。

「班の役割を発揮する組織づくり」が意識され、班の力で運動や拡大に取り組む流れが広がりました。「一人ではできないことができる」「班会で学んだことを伝えたくなくなった」「話せる場があるって同僚にも知らせたい」——班の役割を考え、願いに応えて踏み出す班活動が、身近なところから青年の行動を支えています。仲間を増やすことで班活動が充実し、魅力的な班活動の中で仲間を増やす意欲がふくらんでいます。

いま、もっと多くの青年に希望を届け、力強い連帯を築く民青になることが、青年からも日本社会からも求められています。同盟員みんなが「民青を大きくしたい」と願い、そのために何ができるかを考えています。共同の力で政治を変えろという新しい条件を切りひらいた今、いよいよ組織的にも飛躍するため大志をもって取り組むときです。青年と広く深くむすびつき、共に学び成長し行動できる組織をつくって、新しい政治を切りひらく力強い民青へ前進しよう——。同盟員を倍加することを目指し、この大会から新しい挑戦を始めます。自分たちの目標を持ち、運動を広げ、組織を作る力を大きくしながら、日本共産党との「共同の事業」で達成を目指します。倍加を目指し、この一年は次の二つの姿勢を貫いて同盟員みんなが力を合わせましょう。

第一に、班の役割を発揮し、班を強く大きくしていくことを目指し

ます。地域・職場・学園で青年の願いに応えるとともに、同盟員の意欲と成長を支える班の活動を豊かにすることで、運動も組織づくりも発展させます。この一年間の努力を続け、いっそう強めることで、班の力で本格的な前進を切りひらきましょう。

第二に、同盟員みんなが組織づくりの担い手となることを目指します。同盟員の新鮮な意欲と、練り上げてきた組織づくりの方針を力に、同盟員みんなが組織づくりの担い手として成長し力を発揮する努力を貫きます。

(1) 拡大への挑戦を広げ、同盟員一人ひとりの力で仲間を迎え新たな班を結成しよう

■同盟員みんなが仲間を増やす活動に挑戦しよう

「こういう組織と出会えて本当に良かった」「民青で私のやりたいことが出来そう」――。民青の仲間を増やす活動は、青年に希望を届けるかけがえのない取り組みです。正面から加盟を呼びかけることは、青年にとって、自分の要求に気付き、「どうしたいか」を考える機会です。同盟員にとって、相手の願いを知ることができ、民青の魅力や役割が自信になり、自分の成長も感じられて、「呼びかけてよかった」と思える取り組みです。やったことがない人もみんなが挑戦しましょう。

一人ひとりの感じている民青の魅力を語り合い、「いま青年が民青に加盟する意味」「民青が大きくなる意味」を考えて、相手の願いに応じて働きかけることが力になります。運動を広げ、青年の要求をつかむ努力の中で、青年が加盟する意味も見えてきます。友人や職場の仲間、運動で結びついた青年を名簿にし、仲間を迎える目標とプランを作って取り組みましょう。

加盟を呼びかけるときは、「加盟よびかけ文」を使って率直に訴えることが力になります。相手の都合に合わせて「民青を知る会」を気軽に開き、「3分間スピーチ」や「みんなのタイム」で普段の活動を伝えながら、関心に応じて感じている魅力や役割を伝えましょう。

「加盟よびかけ文」を読み合せ、「あなたの願いを実現するためにも入ってほしい」「私は加盟して本当に良かった」「一緒に学んで成長しよう」と真剣に粘り強く訴えましょう。

■仲間を増やし、新たな班の結成に挑戦しよう

青年の身近に班をつくることは、草の根から政治を変える力になります。「この地域・職場・学園に班をつくる意味」を話し合い、仲間を迎えて班を分けるとともに、新たな仲間を迎えて地域・職場・学園で新しい班をつくる努力を強めましょう。日本共産党とも力を合わせ、都道府県・地区委員会で積極的な目標を持って取り組むとともに、班でも仲間を増やして新たな班をつくるために力を合わせましょう。

(2) 原則的な班活動の努力を強め、青年と要求で結びつき班の力で仲間を増やそう

民青の班が、草の根から学習と行動を広げ、政治を変え主権者として共に成長するかけがえのない役割を果たしています。班会での学習と交流が同盟員の成長を支え、行動を励ましています。青年と要求で結びつき、班の力で仲間を増やすために、「班が主人公」の原則的な班活動に力を合わせましょう。

■班活動の発展にみんなが力を合わせよう

第一に、たくさんの青年と結び付き、仲間を増やし、願いに応えて一緒に学び行動し、成長する班活動を目指します。周りの青年の願いや関心をつかみ、一人ひとりの要求も語り合って、「班の役割」を考えることが出発点です。「どんな班になりたいか」を話し合い、願いに応える班プランと同盟員・読者を増やす目標を持ってその達成へみんなが努力します。新しい仲間を迎えれば、青年の願いに応える力は大きくなり、班活動も発展します。「この地域・職場・学園に班がある意味」を考え、毎回の班会で「仲間を増やしたい」思いと行動を励まし合って、班のみんなが挑戦します。どんな活動に取り組むときも、大会決定や班プランに立ち返り「自分たちに何ができるか」「班が取り組む意味は何か」を話し合いみんなが力を合わせることを大切にしましょう。

第二に、学習を柱に据え、同盟員の意欲と成長を支える班活動を目指します。班会が毎週開かれてこそ、「やりたいこと」もどんどん実現し、魅力的な班活動をつくることができます。「毎週集まることがなぜ大切か」を話し合い、週一回を基本に班会を開く努力を強めましょう。全ての班が班総会を開き、班長・班委員を選出し、班長・班委員会議を開いて県・地区委員会と力を合わせましょう。「みんなの時間」を

重視しましょう。基礎講座と学習セミナーを受講しましょう。『班活動アドバイス』が参考になります。

第三に、同盟費を毎月納入し、班員みんなの思いが活かされるあたたかく力強い班活動を目指します。同盟費を毎月納入することは、班員の思いを生かし、みんなの力で安倍政権を倒す活動を支えます。財政係を決め、毎月同盟費を集め、県・地区委員会に納めましょう。機関紙係を決め、毎月の配達・集金へ努力しましょう。

■民青新聞を活動の中心に据えよう

民青新聞を学習や運動、組織づくりを進める中心に据えましょう。「関心に応えた『みんしんタイム』で加盟」「『班活動BOX』を読み合わせて班長を決めた」「署名の意味を考えた」など、活動のあらゆる場面で、民青新聞で学び考えることを大切にしましょう。全ての同盟員が民青新聞を購読することを目指しましょう。

(3)「班が主人公」の活動を支え、班と力を合わせる都道府県・地区委員会活動を

「援助している班が班プランを持って活動できるようになった」「班員から『班会が楽しい』と言われるようになった」――。「班の活動をどう発展させるか」を考え、班と力を合わせる都道府県・地区委員会活動によって、班活動が生きいきと発展しています。学習を大切にし、頑張りたい思いを共有する会議が、「エネルギー補給の場になっている」「議論したことを班にも伝えたい」と役員のやりがいや成長を支えています。

この一年の努力で、「自分たちの班も仲間を増やしたい」「宣伝に挑戦してみたい」と班に新たなエネルギーが生まれています。班員や青年の思いに触れ、役員にも「班活動を発展させたい」「班の仲間と運動を広げたい」と意欲が生まれています。「班が主人公」の活動を支える都道府県・地区委員会活動の努力を強め、一つひとつの班を基礎に民青の役割を多彩に輝かせていくことで、その地域や都道府県で要求実現や学習、組織づくりを進める活動をつくりましょう。

第一に、班の意欲に働きかけ、班と都道府県・地区委員会が力を合わせて活動します。班員の「やりたいこと」や青年の願いに応える多彩な班活動を大切にし、班が学習や行動、組織づくりなどに全面的に

取り組めるよう援助します。「地区で署名運動を決め、班が目標を持つよう『民青新聞で取り組む意味を考えよう』と提起」など、都道府県・地区として「どんな運動や学びを広げるか」「どのような組織をつくっていくか」「そのために班で何を大事に活動するか」を考えることが大切です。毎回の会議で、班会で出された声や青年の願いを大会決定と情勢に照らしてとらえ、「今月はこれがんばろう」「班にこう投げかけよう」と決めて班に向き合い、一つひとつの班が生きいきと活動できるよう後押ししましょう

第二に、役員みんなで力を合わせ、「班が主人公」の活動を支えます。みんなで取り組んでこそ、集団の力も、一人ひとりの力も発揮できます。班の様子を共有し、大会決定に照らして振り返ると、一つひとつの行動の意味や班員の成長、生まれている変化がいっそう豊かに見えてきます。一つひとつの活動に「班が取り組む意味」をみんなで考えれば、自信をもって班を援助する力になります。毎月の会議を定例化して会議の開催と成功にみんなで努力し、じっくり議論することが大切です。一人ひとりの思いを大切に、活動の苦労やよろこびも、仕事や生活のことも共有しながら活動します。専門部や係の分担などみんなが役割を担い、班長・班委員との相談を大切に、班の仲間と力を合わせましょう。

第三に、役員の成長を大切に、互いの挑戦を励まし合って活動します。「班が主人公」の活動を支えるために力を合わせる中で、役員自身も成長します。会議では必ず学習の時間を持ち、自分たちの役割ややりがいをつかみながら活動すれば、みんなで成長することができます。学習セミナー4課目の受講を重視し、新しいことにも励まし合って挑戦しましょう。

こうした努力の中で新しいリーダーをつくり、地区委員会の再建を目指しましょう。

(4) みんなの意欲を生かす組織へ、財政・機関紙活動を強めよう

全ての同盟員が同盟費を納めて日常的に結びついてこそ、みんなの力で安倍政権を倒し新しい政治を切りひらく組織をつくることができます。機関紙活動を確立し、青年に「力を合わせれば変えられる」という希望を届けることが、ますます大切になっています。

月間サイクルを持って日常的に取り組み、全ての同盟員が毎月同盟費を納入し、全ての班が毎月同盟費・機関紙代を納める組織を目指します。班・地区・県で財政係や専門部を確立し、毎月の節目と目標を持って取り組みます。『財政・機関紙活動のしおり』など学び、『班活動ノート』を活用します。活動に参加できていない同盟員にも思いをさせ、「同盟費を毎月納めることがなぜ大切か」「機関紙を毎月配達・集金することの意味は何か」を話し合い、担い手を広げて取り組みましょう。

（５）懇談と一緒に踏み出すことを大切に、日本共産党との「共同の事業」を発展させよう

日本共産党と懇談し、青年の実態や願い、同盟員の思いや民青の役割を伝えることで、民青の前進へ力を合わせる新しい挑戦が始まっています。一緒に踏み出すことで、青年から民青が求められていることが共有され、「どう応えていくか」と真剣な努力が始まっています。班がなかったところでも同盟員を迎え、新たな班をつくる展望をひらいています。

都道府県委員会はもちろん、地区委員会や班でも日本共産党と懇談し、継続しましょう。一緒に実践する中で知恵と力を出し合ひましょう。

（６）決定を力に「班が主人公」の活動のスタートを

同盟現勢の倍加を目指す新しい挑戦には、班と同盟員が目標をもって生き生きと活動していくことが欠かせません。第41回全国大会後、ただちに全班で決議を討議して班プランと新たな班長を決めるために、2018年2月末までを「班プラン作りと班長選出100%をめざす特別期間」として取り組みます。

憲法を壊す政治を変え、国民主権の新しい政治の実現へ、広く青年に根ざした力強い民青をつくり、新しい時代を切り開くために力を合わせましょう。

以 上